

2 計画の進行管理

2 計画の進行管理

(1) 第2期環境基本計画前期行動計画

第2期環境基本計画前期行動計画は、ふじみ野市の豊かな自然環境と都市環境が調和する良好な環境を将来に引き継ぎ、また、地球環境保全などの環境課題に対し、市、市民、事業者が共通の目標を掲げ推進するために策定されました。

本計画は、施策の方向性である4つの「施策の柱」を定め、それぞれの柱ごとに、基本的な考え方と施策の展開を示し、その方向性にそって各主体が取り組み、より実効性あるものとするために行動指標を設定しています。

この行動指標は平成28年度を基準年度、平成34年度(令和4年度)を目標年度として48の数値目標等を定め取り組んでいます。

(2) 令和元年度の進捗状況

第2期環境基本計画前期行動計画には48の行動指標がありますが、そのうち「現在評価が可能な46指標※」について達成の有無を「評価1※※」としたところ、目標を達成できたものは22項目48%、途中の進捗状況も加味した「評価2※※※」では59%でした。

※ 現在評価が可能な46指標

「1人当たりの公園等面積」と「緑被率」の2指標については、次期「緑の基本計画」策定の際に算出を想定しており、それを除くと現在評価可能な指標は46です。

※※ 「評価1」

令和4年度の目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

※※※ 「評価2」(進捗状況を加味した評価)

令和4年度の目標値に対し、達成済3点(100%達成)、あと少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化しました。

◎ 第2期環境基本計画・前期行動計画の進捗状況(令和元年度)

「評価1」: 目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

「評価2」: 達成3点(100%達成)、あと少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化。

施策	行動指標	単位等	現 状 平成28年度	目 標 令和4年度	令和元年度	評価1	評価2	所管	令和元年度の実績	令和元年度の課題等(今後の課題取組等)
(1) 家族や各年代が参加できる場の提供	1 環境学習館における環境に関する講座数	回	18	36	30	×	2	環境課	SPC主催12講座、市主催18講座。学校の長期休みを中心に講座数の増加に取り組んできた。3月実施予定だった4講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	毎年同じ講座の繰り返しとなってしまっている部分があることから、講座内容の充実について検討していく。
	2 学校における環境教育	実施状況	小中全校で実施	小中全校で実施	小中全校で実施	○	3	学校教育課	各校の実態に合わせた年間指導計画の作成ができた。地域協働学校の取組の中で、地域と連携した教育活動を検討していく。	各校の実態に合わせた年間指導計画の充実。地域人材と連携しながら環境教育をさらに充実させる。
	3 環境フェア実行委員参加団体数(個人参加含む)	団体・個人	18	20	17	×	3	環境課	16団体+市民公募1人	市報による新規団体募集をしても応募は少ない。令和元年度1人。(個人)
	4 エコラポフェスタの開催回数	回	-	1	1	○	3	環境課	6月29日(土)開催、来場者数 2,500人 3年目ということで市民にもある程度認知されてきており、悪天候にも関わらず一定の集客も得られた。	限られたスペースではあるが、体験ブースをより充実させて集客を上げる。広報や学校へのチラシ配布により、さらに認知度も上げていく。
	5 こどもエコクラブの登録数	団体	1	2	1	×	0	環境課	登録団体：ふじみ野こどもエコクラブ	28年度に2団体から1団体に減少した。ホームページで団体紹介をしているが、PR不足は否めない。
(1) 地域や団体が連携した環境事業の推進	6 環境協働事業を実施した環境活動団体数	団体	4	6	4	×	1	環境課	花と緑部会：緑のカーテンの普及促進 環境情報ネット：環境情報誌の発行 環境緑化をすすめる会：遊休農地の緑化事業 上福岡駅前花と緑を育てる会：上福岡駅前ロータリーの花遣化	継続事業が多く、新規事業や新規団体の参加が少ない。目標達成のためには予算措置が必要となる。
	7 大学や企業と連携した環境学習事業	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	教育機関：文京学院大学、淑徳大学、大東文化大学、ホンダ学園 企業：武州ガス、イオン、石坂産業 他 参加事業：エコラポフェスタ、環境フェア、環境学習講座	引き続き近隣の教育機関や企業と連携した事業運営を行っていく。
	8 地域環境美化自主活動延べ参加者数	人	8,201	8,693	7,508	×	1	環境課	・地域環境美化自主活動の支援 ごみ袋配布枚数 5,985枚 ごみ回収回数 121回 ごみ回収量 6,490kg 延べ参加人数 7,508人	前年度実績を下回っている。引き続き美化活動を推進していく必要がある。
(1) 環境情報の提供	9 環境年次報告書の発行・市HPへの公表	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	1月発行・HP掲載	市民への周知とともに、経年変化の把握のうえでも毎年発行する必要がある。
	10 環境情報のネットワーク化をした環境活動団体数	団体	-	6	-	×	0	環境課	実績なし。	まずは環境協働事業実施団体のネットワーク化により、情報の共有化等を検討する。
(2) 環境調査の充実	11 環境調査の実施	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	【大気汚染、河川等水質、騒音・振動・交通量調査業務】 大気汚染 一般大気：年4回7地点 沿道大気：年2回1地点 河川水質 水質：年4回5地点 魚類・底生生物：年1回1地点 騒音・振動・交通量 年1回3地点 【ダイオキシン類(大気・土壌)濃度測定業務】 ダイオキシン類 大気：年2回2地点 土壌：年1回4地点 【自動車交通騒音面的評価業務】 自動車交通騒音測定面的評価 年1回2路線	市民への周知とともに、経年変化や汚染・汚濁の蛍光を見るうえでも毎年実施の必要がある。
(1) 清潔で憩いのあるまちづくり	12 ボイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーン	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課		
	13 道路清掃美化活動団体数(道路サポーターズ)	団体	8	10	7	×	2	道路課	活動休止となった団体が1団体あり、活動団体は7団体となった。	会員が高齢化しているため、PR活動等により会員数の増加を促さず。

施策	行動指標	単位等	現 状 平成28年度	目 標 令和4年度	令和元年度	評価1	評価2	所管	令和元年度の実績	令和元年度の課題等(今後の課題取組等)
(1) 清潔で憩いのあるまちづくり	14 犬の飼い方しつけ方教室の実施	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	1月25日(土)開催、参加者31名	市民アンケートで、「犬などの散歩やふんの処理のマナー」について不満足が最も高い。また、本教室の参加者が減少傾向であり、さらなる周知が必要である。
(2) 魅力あるまちなみ、景観の保全と創造	15 苦情があった空き地の未改善箇所数(年度末現在)	箇所	2	0	3	×	0	環境課	苦情34件のうち未改善箇所が3カ所	苦情があった空き地の指導はもちろん、当該年度に苦情がなくても、以前、課題のあった空き地の一斉調査による指導も必要である。(不適切な空き地は毎年同様に放置されるケースが多い。)
	16 屋外広告物除去作業回数	回	28	25	25	○	3	道路課	年間25回実施した。撤去したはり紙やはり札は合計で648枚であった。	屋外広告物に対し、必要な規制を行うとともに、定期的に無秩序なはり紙、立看板などの除去を行います。
(3) うるおいとやすらぎの場の創出	17 1人当たりの公園等面積	m ² /人	3.1	5.0	3.4	×	1	公園緑地課	コミュニティ公園、ふじみ野市第2運動公園の新設に伴い、1人当たりの公園面積が増加した。	今後、公園面積を増やす方策を検討する必要がある。
	18 公園等愛護会の数	団体	45	51	42	×	0	公園緑地課	2団体が活動継続困難になり解散した。	既存の愛護会が活動を継続できるようサポートをするとともに、新たに愛護会を設立してもらえるよう呼びかける必要がある。
	19 市と連携した公園ボランティアの団体数	団体	1	4	0	×	0	公園緑地課	公園ボランティア団体の立ち上げはなかった。	愛護会とは異なるボランティア制度の創設について検討する必要がある。
(1) 安全・安心に住みあえるまち	20 交通安全教室の開催回数	回	16	16	16	○	3	都市計画課	市内の小学校13校、中学校3校で各1回実施した。	交通安全の啓発、交通マナーの向上を促進するため、引き続き交通安全教室を実施し、安全なまちを目指していく。
	21 市が管理している道路照明灯等のLED化率	%	15.3	100	100	○	3	都市計画課	市が管理している道路照明灯等の維持管理を実施した。また、防犯灯を年間15灯新規に設置をした。	市道における道路照明灯及び防犯灯の新規設置や、市道を照らす目的の私有地における道路照明灯及び防犯灯の新規設置については、近隣住民や地権者のご理解、ご協力が必要となる。
	22 自治組織の加入率	%	56.7	59.5	51.5	×	1	協働推進課	11月を「自治組織加入促進月間」と定め、広報11月号の巻頭8ページで特集記事を掲載、パンフレットの全戸配付やポスターの掲出、市ホームページ(トップページ)への表示等、自治組織とタイアップしながら加入促進の取組の強化に努めた。また、平時においても、転入者への加入案内や、埼玉県地建物取引業協会埼玉西部支部との協定に基づき、事業者からも入居者に働きかけをしてもらっている。	加入率については、役員の高齢化・固定化及び実施事業の硬直化など様々な課題を抱えており、左記の取り組みについてもすぐに効果が表れづらいのが現状であるが、継続的な取組が必要であると考えているため、今後も引き続き実施していくとともに、有効策を検討していく。
	23 雨水貯留浸透施設の数	箇所	45	52	50	○	3	上下水道課	貯留施設浸透施設の数 1基	計画的に浸水実績がある箇所雨水貯留浸透施設の設置を推進しているが、設置できる場所も限られており、近年のゲリラ豪雨に対して万全とは言いがたい。
	24 野焼きの防止(改善/指導の割合)	%	100	100	100	○	3	環境課	指導実績4件	現場を確認して指導する必要がある、通報の受理から迅速な対応が求められている。
(1) 公害の未然防止・拡大抑制	25 大気環境基準達成率(二酸化窒素と浮遊粒子状物質)	%	100	100	100	○	3	環境課	一般環境大気調査(自動計測器) 二酸化窒素 期間最大値0.62ppm 一般環境大気調査(簡易測定) 沿道大気調査(自動測定器)	大気汚染の最も基本となる数値であり、市民の健康を守るため継続した確認が必要である。
	26 河川の環境基準達成率(生物化学的酸素要求量)	%	100	100	100	○	3	環境課	【大気汚染、河川等水質、騒音・振動・交通量調査業務】 河川水質：年4回5地点 BOD(環境基準5mg/L以下) 新河岸河川(崎橋) 2.0mg/L、1.1mg/L、0.8mg/L、1.4mg/L 新河岸川(新伊佐島橋) 1.5mg/L、1.1mg/L、0.9mg/L、0.9mg/L ※ 参考(河川ではないため環境基準に係る類型指定なし) 福岡江川(川通橋) 1.3mg/L、0.6mg/L、0.5mg/L、1.3mg/L 砂川堀(織部橋) 5.6mg/L、3.1mg/L、1.9mg/L、8.7mg/L 砂川堀(栄橋) 1.5mg/L、1.0mg/L、0.9mg/L、1.0mg/L	砂川堀(織部橋)のBODの環境基準(5mg/L)を超過しているため、引き続き経過を確認が必要である。
	27 浄化槽維持管理状況の把握	実施状況	—	実施	実施	○	3	環境課	浄化槽の維持管理状況の把握に努めた。	浄化槽の維持管理が適正でなく、近隣から悪臭の苦情があるケースもある。全体的な啓発だけではなく、個別の指導が必要である。
(1) 地域温暖化防止対策の推進	28 庁用車の低公害車導入率(アイドリングストップ付き自動車を含む。)	%	19.7	42.7	42.8	○	3	資産管理課	公用車全91台中39台が低公害車(アイドリングストップ機能付き含む)	使用年数の長い市有車両等を少しずつ新しい低公害車に変更するとともに、車両の使用頻度を確認しながら、適正かつ効率的な車両台数となるよう調整を図っていく。
	29 公共施設における屋上緑化、緑のカーテン等の設置施設数	施設	29	35	20	×	1	環境課	全81施設の内、20施設が実施。	前計画では平成29年度目標値30に対し平成28年度実績29とあと1に迫ったため、新計画では目標35に増やしたが、平成29年度21、平成30年度13、令和元年度20と大幅な減となってしまった。

施策	行動指標	単位等	現 状 平成28年度	目 標 令和4年度	令和元年度	評価1	評価2	所管	令和元年度の実績	令和元年度の課題等(今後の課題取組等)
(1)地域温暖化防止対策の推進	30 公共施設の電気使用量	Kwh	17,691,615	16,807,035	12,616,309	○	3	環境課	目標を達成した。	目標を達成したが、引き続き削減に努める必要がある。
	31 学校給食における県内産食材の割合(種類の割合)	%	11.7	15.0	9.4	×	1	学校給食課	目標に対して達成率62%の実績であった。	県内産の積極的な活用は環境に優しい政策であると考えられるが、原材料については畑の面積が広大な県外の地域の方が安価な傾向もあり、埼玉県内産を優先するとコストが上がってしまう可能性もある。
(1)廃棄物発生抑制と減量化の推進	32 1人1日当たりのごみの量(家庭系、事業系)	g/日・人	家庭系604 事業系176	家庭系585 事業系154	生活系601 事業系171	×	1	環境課	平成30年度までは減少を続け、「1人1日あたりの生活系ごみ量が少ない市」5年連続県内1位を達成していたが、令和元年度は翌年度からの粗大ごみ一部有料化や台風被害による災害ごみ発生の影響からか、ごみ量が全体的に増加した。	レジ袋有料化が義務付けられることも考慮し、エコバッグやマイボトルの利用を推進し、ごみになるものをもらわない・使わないライフスタイルを市民に提案していく。
	33 最終処分量	t	571	356	459	×	1	環境課	年々減少傾向にはあるが、目標には届いていない。	小型家電リサイクルボックス(公共施設に設置)や小型充電式電池リサイクルボックス(家電量販店など)の利用を推進していく。
	34 生ごみ処理容器販売件数	基	67	80	24	×	1	環境課	ごみ減量をすすめる会の協力のもとエコーポフェスタ、環境フェア、産業まつりなどのイベントで販促活動を実施した。キエーロ勉強会、キエーロ相談会も各1回ずつ実施した。	広報やホームページ内のペラングdeキエーロ紹介ページを充実させ、認知度を上げる。市のイベント以外での販促活動についても検討していく。
	35 集団資源回収量	kg	570	570	419 単位は t	×	1	環境課	対象の資源物(新聞紙、ダンボール、雑がみ、布類、アルミ缶、生きびん)の自主的な回収活動を行った自治会等の団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付した。参加団体数:43	主に古紙類の買い取り価格が下落もしくは逆有償となってしまっており、回収量が減少してしまっているため、報奨金の単価や対象品目の見直しを検討していく必要がある。
(2)再利用・リサイクルの推進	36 焼却ごみ量	Kg/年	24,378	22,776	23,760 単位は t	×	1	環境課	ふじみ野市・三芳町環境センターでの焼却量全体を、三芳町との可燃ごみの搬入量割合で按分している。 33,157.11t(焼却量)×71.66%(ふじみ野市割合)	資源化可能な紙類などの可燃ごみへの混入が、家庭ごみ・事業ごみともにまだまだ多くみられることから、収集業者等と連携し、市民及び事業者に対する分別の周知徹底を図る。
	37 リサイクル率(灰含む)	%	29.6	31.8	27.7	×	0	環境課	リサイクル対象品目総排出量÷総ごみ排出量×100(%) 目標に反して年々減少傾向にある。	上述のとおり、市民及び事業者に対する分別の周知徹底を図る。
(3)廃棄物の適正処理	38 フリーマーケットの開催回数	回	1	2	2	○	2	環境課	環境フェアと楽ママフリーマーケットの2回開催(目標達成) 楽ママフリーマーケット実績 出店ブース:30区画(96人) 来場者数:450人 対象品目:子供・ベビー用品	販売対象品目の拡大やイベントの充実について検討する必要がある。屋内に限られたスペースで実施するため、ブースの配置を工夫し、ブースごとの集客に差が出ないように工夫する必要がある。
	39 不法投棄パトロールの実施	実施状況	随時実施	随時実施	12	○	3	環境課	月1回を目安に、資源物の持ち去り防止も兼ねたパトロールを実施した。	不法投棄件数が横ばいであることから、パトロールによる抑制効果は十分得られているとは言えない状況である。令和2年度から実施される粗大ごみの一部有料化に伴い、対象品目の不法投棄増加も懸念されることから、さらにパトロールを強化していく必要がある。
(2)不法投棄回収の回数	40 不法投棄回収の回数	台(収集車)	77	57	77	×	0	環境課	集積所等への不法投棄があった場合に、必要に応じて回収を行った。回収件数は横ばいである。	上述のとおり、パトロールを強化する必要がある。
	(1)緑の保全・創出	41 緑地保護地区面積	m ²	125,015	125,015	111,429	×	0	公園緑地課	解除の申し出があり、緑地保護地区面積が減少した。
42 緑被率		%	34.5 (H23年度)	40	34.5 (H23年度)	×	0	公園緑地課	緑被率の調査を行っていない。	令和4年度に「ふじみ野市緑の基本計画」の時点修正を実施する際、緑被率の調査を実施する予定である。
43 市民農園数		箇所	7	9	7	×	1	産業振興課	市報等により市民農園の周知、利用者の募集を行った。	市内に7カ所ある市民農園は若干空きがあるため、シルバー人材センターと連携し、広報等で利用を呼びかける。
(2)水辺環境の保全・再生	44 新河岸川の美化活動回数	回	2	3	2	○	3	道路課	6月と11月に新河岸川沿いの清掃活動及び山吹の植栽活動を実施した。3月末にも清掃活動を予定していたが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、やむなく中止とした。	今後も川の国産護国と協働し、活動に努めてまいります。
(3)自然環境を育む生物共生空間の保全	45 アライグマの捕獲数	頭	3	15	7	×	1	環境課	アライグマ7頭を捕獲した。	市民の申し出により、箱ワナの貸し出しを行っている。箱ワナにハクビシンやタヌキがかかる場合も多い。一度に多くの市民のニーズに対応するため、令和元年度に箱ワナ2基を増やした。
	46 新河岸川生息生物の把握(生物調査)	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	8月19日に新河岸川新伊佐島橋付近において、魚類調査の結果4目5科10種の魚類を確認	市民に分かりやすい指標であり、継続実施が望ましい。

施策	行動指標	単位等	現 状 平成28年度	目 標 令和4年度	令和元年度	評価1	評価2	所管	令和元年度の実績	令和元年度の課題等(今後の課題取組等)
(4)美しい自然景観と歴史的資産の保全、調和	47 自然環境と調和した歴史、文化財に関する講座回数	回	9	13	【社会教育課】 2	○	1	教育委員会(社会教育課・公民館・歴民等)	【社会教育課】8月6日・7日に権現山と上福岡歴史民俗資料館を会場に、小学生を対象にした体験学習「土の中の生きものを探そう」を実施し、22人(のべ43人)の参加があった。3月27日には権現山自然観察会を企画していたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。(上福岡公民館) ことぶき大学を昭和100年大学に改編し、講義テーマを絞ることとなったため、環境関連分野の講義を削減することになった。	【社会教育課】「権現山古墳群史跡の森」として一般公開している。県内でも希少な古墳群と雑木林の保全をし、歴史と自然を体感できる場所として多くの人々に利用されるよう、整備活用計画を立てていく必要がある。(上福岡公民館) ことぶき大学が昭和100年大学の「元氣健康学部」となり、「健康のための教養学科」「健康のための体育講座」「健康のための声楽講座」と環境分野と直接関連しない分野を受け持つことになったため、実施が困難となった。今後参加者からの要望を踏まえながら、他学部と連携し、関連する分野を取り入れることができないか検討していく。
	48 文化財の指定数	件	58	60	59	×	0	社会教育課	平成30年度に「ハケ遺跡古墳群1号墳出土埴輪」を市指定文化財に指定している。令和元年度は新指定の文化財はないが、市指定文化財「しだれ桜」の治療・修繕等の事業費に対し補助を行い、大型台風の被害を未然に防ぐことができた。	市指定文化財回漕問屋旧福田屋(福岡河岸記念館)と同じく新河岸川舟運の回漕問屋として繁栄した「旧江戸屋」の建物(未指定の文化財)について、市へ寄付されることになったため、文化財指定及び保存・活用のための整備が必要となる。あわせて新河岸川沿岸の文化財や福岡河岸の景観など、自然環境と歴史資産の保全・調和の視点をもった整備活用計画づくりが必要となる。
					計	22	83			

(3) 協働による環境協働事業の促進

第2期環境基本計画前期行動計画の施策の柱の1つである「学びと協働の推進」に基づき、環境活動団体や市内の大学等が実施する環境協働事業の経費を助成することで、環境活動団体の育成等に努め、環境協働事業の推進を図ります。

①環境情報ネット

1 提案事業名	ふじみ野市環境情報誌「はらっぱ」の発行事業
2 事業の目的と事業内容	ふじみ野市を中心とする市民、事業者、教育機関、行政機関と連携して、幅広い環境情報を「環境情報誌はらっぱ」の発行を通し、広く市民に提供していくことにより、市民の環境意識の向上を図り、もって、自ら行動する環境市民を育成することを目的とする。
3 事業の期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日 (環境情報誌はらっぱ第13号及び第14号の発行)
4 事業実施状況	
平成31年	
4月12日	情報ネット会議:12号配布、13号構成、事業計画等
4月15日	情報ネット会議:13号構成・分担、映画とシンポジウム等
令和元年	
5月	映画『お百姓さんになりたい』を市民プロデューサーとして支援
5月24日	ふじみ野市役所プラゴミについて取材
5月27日	上野台小学校総合学習授業「プールの生き物調査」
6月24日	映画『武蔵野』上映会・シンポジウム打合せ
7月3日	廃棄物処理業者「太盛」取材
8月16日	大井郷土資料館取材・散策マップ
9月4日	シンポジウム打合せ
9月13日	上野台小学校総合学習授業(環境学習の環境づくり)
9月14日	情報ネット会議:13号校正、修正し21日印刷発注
10月1日	はらっぱ13号発行・納品
10月3日	情報ネット会議:13号配布分担、14号内容協議、映画『武蔵野』とシンポジウムの事前準備等
10月6日	映画『武蔵野』上映会・シンポジウム開催
10月22日	情報ネット会議:14号構成、スケジュール等
10月24日	上野台小学校総合学習授業(ビオトープづくり)

<p>11月3日 11月22日</p> <p>令和2年 1月8日 2月2日 2月14日</p>	<p>情報ネット会議:14号内容・分担、スケジュール等 情報ネット会議:特集について打合せ</p> <p>14号取材(団体紹介) 市民活動交流会(はらっぱ12・13号配布) 14号取材(企業訪問紹介)</p>
<p>5 事業の成果</p>	<p>①環境情報誌はらっぱについては、毎号様々な角度から環境に関わる課題や問題、現状等について取り上げ、環境課題を共に考え解決につながるよう取り組んできた。市民により良い環境づくりを目指すための情報を提供し、理解を深められるように努めてきた。</p> <p>13号では地球規模で問題となっているプラスチックごみに焦点を当てふじみ野市の現状を取材し問題点について考えた。</p> <p>14号については、SDGsを特集にして取り組んだが年度内発行に至らず、継続して新年度事業の中での発行を目指し取り組んでいく。</p> <p>②映画『武蔵野』上映会とシンポジウムの開催については、市民大学ふじみ野との協議を経ながら、環境情報ネットが企画・運営を担当した。上映会当日は75人の参加者があり、4名のシンポジストの発言や参加者とのやり取りもあり、意義のある開催となった。</p> <p>③上野台小学校総合学習授業については、環境情報ネットが担当可能なものについては担当し、他の団体の協力をいただけるものは紹介するなどコーディネータの役割も果たしながら学校の要望に沿うよう効果を上げてきた。</p> <p>④市民活動交流会では、12号・13号各800部を参加者に配布し、周知に繋がった。</p>



こんにちは古代人！～ふじみ野市内の発掘調査から～

ふじみ野市立大井郷土資料館 学芸係長 鍋島 直久

全国では年間 8,000 件を超える遺跡（埋蔵文化財）の発掘調査が行われ、マスコミなどでたびたび取り上げられています。ふじみ野市内でも毎年約 50 件の発掘調査が行われ、最近ではハケ遺跡（ふじみ野市福岡 3 丁目）から出土した古墳時代の人物埴輪が、ふじみ野市指定文化財になりました。

ふじみ野市は地形的にみると武蔵野台地と荒川低地に分かれます。その上に新河岸川、砂川堀、江川、さかい川などが流れています。遺跡はこうした河川沿いや川越街道の周辺にあり、区画整理事業や家の建て替えなどで土地を掘削する際に発掘調査が行われています。

市内で見つかった主な遺跡と遺物を紹介します。

①縄文時代の巨大集落（東台遺跡と西ノ原遺跡）

縄文時代中期（約 4,500～5,500 年前）に、県内でも最大規模の 200 軒を超える村跡が市内 2 か所で見ついています。東台小学校周辺に広がる東台遺跡と、もう一つは東入間警察署から J A いるま野周辺に存在する西ノ原遺跡で、約千年間にわたって人々

の暮らしが営まれました。

家の形は四角形や円形で大きさは直径 4～6m、4～8本の柱が立ち、中央には炉が据えられています。出入口部分には、子供の胎盤などを取めたとみられる土器が埋められています。1軒の家には4～5人の家族が暮らし、動物や幾何学的な文様をモチーフにした土器や石器を使用し、人物の土偶も見ついています。



②首長や豪族の墓が造られたころ（ハケ遺跡）

平成 26 年にふじみ野市、富士見市、三芳町の入間東部地区ではじめて、市内のハケ遺跡から人物埴輪が発見されました。古墳時代（約 6 世紀後半）のもので、頭部から腰部まで復元された 2 体の人物埴輪は、両手を広げるような巫女の姿をしています。他には頭に被り物をした男性や器を持った手の埴輪などもみられます。

3 世紀後半から 4 世紀初頭の埼玉県指定史跡「権現山古墳群」と 5 世紀の「権現山北古墳群」、そして新たに 6 世紀後半のハケ遺跡の古墳群が発見されたことで、連続と続く古墳群の様相が明らかになりつつあります。

■イラスト/上福岡貝塚から発掘された片口土器の文様（国重要文化財）
 ■左/縄文時代の住居跡（白線）と発掘調査跡（西ノ原遺跡）
 ■右/手を広げる巫女埴輪など



②花と緑部会

1 提案事業名	緑のカーテン普及啓発事業
2 事業の目的と事業内容	<p>COP25、SDGs 持続可能な開発目標、2050 年度までに平均気温を 2℃ 下げることが目標に、その一環として、小さな力であるが、市民として考え行動する。</p> <p>※緑のカーテン用苗の市民への無料配付を行う</p> <p>※緑のカーテン育成講座（大井中央公民館との協働事業）</p> <p>※緑のカーテン、モデル事業（市役所本庁舎前の緑のカーテン）</p> <p>※緑のカーテン・コンテスト（環境フェアにて実施）</p>
3 事業の期間	平成 31 年 4 月～令和 2 年 10 月
4 事業実施状況	
令和元年	
5 月 6 日	<p>緑のカーテン用苗配布事業（合計 900 株配付）</p> <p>（午前 10 時）大井中央公民館 3 株×150 組</p> <p>（午後 1 時）ココネ広場 3 株×150 組</p>
5 月 11 日	<p>緑のカーテン育成講座（大井中央公民館との協働事業）</p> <p>参加人数 30 人（満員）、参加者に苗 3 株配付</p>
8 月 10 日	<p>ゴーヤ料理教室（大井中央公民館との協働事業）</p> <p>参加人数 30 人（満員）</p>
10 月 20 日	<p>緑のカーテン・コンテスト（環境フェアにおいて表彰）</p> <p>応募総数 32 点</p> <p>12 月～2 月にかけてふじみ野市・三芳町環境センターで展示</p>
5 事業の成果	<p>計画通り全事業実施出来、地球温暖化防止、SDGs に繋がる当事業は継続して、市民、県民、国民、全世界の人々に省エネを呼びかけ、継続する必要がある。</p>



③環境緑化をすすめる会

1 提案事業名	遊休農地の緑化事業	
2 事業の目的と事業内容	市内の遊休農地を活用した緑の再生と自然体験の場をつくり、遊休農地に麦とコスモスを交互に育て、周辺住民や近隣幼稚園児にコスモスの花を摘んでもらう。	
3 事業の期間	年間	
4 事業実施状況		
令和元年		
5月13日	草取り・耕耘	11人参加
6月3日	麦刈り	17人参加（風の里保育園児参加）
6月10日	コスモス種まき	17人参加（風の里保育園児参加）
7月1日	草取り	10人参加
8月5日	草取り	7人参加
9月2日	草取り	8人参加
11月4日	コスモス刈取り・耕耘	12人参加
11月25日	麦蒔き	12人参加
令和2年		
2月10日	麦踏み	18人参加（風の里保育園児参加）
5 事業の成果	コスモスによる、遊休農地の緑化を実現した。 風の里保育園の参加。コスモスの花を愛でる機会となった。 環境緑化をすすめる会、おらほう来ねか大井郷などで構成する「織部塚（一本松）等景観保存会」による織部塚保存の多面的な活動を展開した。	



コスモス種まき



コスモスと織部塚

④上福岡駅前に花と緑を育てる会

1 提案事業名	上福岡駅の駅前東口・西口ロータリーエリア緑地帯の花壇化、維持管理事業
2 事業の目的と事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市の主駅玄関に相応しく、季節感に溢れた素敵な草花・花木がいつでも咲いている駅前東口・西口ロータリーエリア緑地帯にすることを目的とする。 ・当該緑地帯を無理なくできる範囲で花壇化、草花・花木を植栽、季節感を有した素敵な緑地帯にすべく自主的・主体的に維持管理する。
3 事業の期間	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
4 事業実施状況	
平成 31 年 4 月～ 令和 2 年 3 月	<p>毎週月曜日に上福岡駅西口ロータリーエリア緑地帯花壇を維持・管理、並びに花卉植栽・植替え（冬, 春版、夏, 秋版）を遂行。 事業参加者（登録者）101 名 （毎週月曜日の作業会には 5～20 名が参加）</p>
5 事業の成果	<p>駅前西口ロータリーエリア緑地帯（仮称「3 本桜緑地帯」及び「ホッケースティック緑地帯」）の雑草除去・石取除き、肥料蒔き、花き植栽・植替え（冬, 春版、夏, 秋版）、水遣り作業、並びに周辺清掃等々の適切な維持・管理により緑地帯花壇を確立、結果的に当該エリア及びココネ広場を通行利用の人達の心身を和ませている。</p>

